

委員会だより

< 1月12日(日) 12名出席 >

- 平成15年度決算報告ならびに平成16年度予算案検討
 - 信徒総会に向け、甲斐財務委員から標記の資料が配布され、検討した。
 - 【詳細は信徒総会において報告、提示されるので、ここでは省略。信徒総会報告をご参照ください。】

2. 総会議事進行について

- ◆新教会委員改選前に質疑応答を終える段取りとする。
- ◆総会議長は現委員長にさせていただくことを確認。
- ◆神父様のご意向として、総会は報告と説明にとどまらず、意見交換、討議の場でありたいというお言葉がありました。

壮年会だより

< 1月18日(日) 15名出席 >

- 壮年会例会
- 1/11 教会委員会報告(詳細は広報なかわだ)
- 2004年度壮年会総会
- 03年度壮年会行事実績および会計実績報告

a. 主な行事実績

- 2月: 住所録・連絡網見直し
- 4月: 「中和田教会葬儀当日マニュアル」制定
- 5月: 「壮年会たより(第1号)」発行
- 6月: 案内係に東原さん
- 7月: チルドレンハーモニー編成に協力
- 7月: 「中和田カトリックサロンマニュアル」制定
- 9月: 「中和田教会壮年会会計取扱細則」制定
- 12月: 「壮年会たより(第2号)」発行

b. 会計実績

- ◆壮年会費未納の方が約1/3になっています。「お忘れの方は、宜しく願います」。

(2) 04年度壮年会行事予定

- 聖書朗読・サロン担当者の進めかたは、原案(11.12月の2ヶ月例会での審議内容)通り承認された。更に「より良い方法を見出すため、3ヶ月に一度見直す」ことになった。
- 広報の原稿は、新しい試みとして「インタビュー方式(復活祭パーティー時・バザー時)」を、7月と11月に挑戦して見ることになった。

3. 役員改選

- 下村会長が教会委員長に推薦されているため、04年度役員は次の通り決定した。

- ◆会長: 小野雅彦
- ◆副会長: 山本仁
- ◆会計書記: 山田孝信



引き続き「梅の花」にて、新年会を行いました。

- ◆楽しい雰囲気の中、「今年も、若い心を持ち続け、明るい壮年会としよう。」そして「教会の仕事に、皆の力を結集しよう」と誓い合って、お開きになりました。



婦人会だより

< 1月18日(日) 35名出席 >

【総会】

- ◆山本会長の挨拶
- ◆H15年度の年間活動報告、一般及び特別会計報告
- ◆鈴木新会長の挨拶
- ◆昨年度役員の皆様一年間有難うございました。今年は役員が4名なので、皆様のご協力をお願いします。

【1月例会・新年会】

- 委員会報告
- 討議事項
 - ◆会則: 役員の数流動的なので、今は変更しない。・・・承認
 - ◆会費: 引き続き100円/月。・・・承認
 - ◆一般会計に少し余裕があるので、何か必要があったときは援助していく。・・・承認
 - ◆役員も少なくなり、高齢化傾向にもあるので、極力簡素化したらどうかという意見が出ましたが、みなさんの積極的な意見交換はありませんでした。
 - ◆クリスマスパーティーの豚汁作りで役員さんがご苦労されたとのこと・・・検討したい。

3. お知らせ

- ◆宮寄幸子さんが1月15日帰天されました。お祈りください。
- ◆新会員 三觜和江さん(A地区) 下迫久美子さん(D地区)
- ◆連絡網電話番号の訂正 望月さん(851-4152)、山本さん(802-0468)

4. グルニエ神父様、高野助祭さんのお話

互いに協力し合い、教え合いながら、みんなで一緒に歩んでいきましょう。「協力」と「一緒にする」とは違います。一緒に行動はできなくても、それぞれの工夫次第で、何らかの方法での協力の仕方はあるはずです。神様の目から見ればみな同じです。

会食の後、ビンゴゲームや歌、そして中谷さんの大正琴の演奏などがあって終始なごやかなうちに終わりました。

【次回は2月15日(日) 当番はD地区】



広報 なかわだ

第298号

2月の予定

委員会	2月 8日
壮年会、婦人会	2月 15日
灰の水曜日	2月 25日
レジオ	2月 13, 17, 27日



2004年 2月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

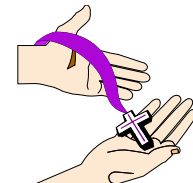
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

平成16年2月8日



不思議な不思議な旅の途上で・・・

パウロ 高野哲夫



一年という中和田教会での実習も幕を閉じようとしています。・・・一年が長かったのか、短かったのか、人それぞれの思いにお任せすることにして、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私が今、中和田教会にいる・・・。それも助祭として・・・。それ自体が、とても不思議なのだと言うことに気付くまで、そう時間を必要としません。少なくとも、私自身はそうです。2年目を迎えようとしていた末吉町教会での実習(神学院では、基本的に2年間の同じ小教区での実習を奨めています)。そして、今まで神学生が送られていなかった中和田教会。・・・どう考えても、あの時点では中和田教会に実習に行くなどという事は、考えられないことでした。ただ時々、中和田教会にお手伝いに行っていた上杉神父様(札幌教区、養成スタッフとして神学院在住)が、「中和田教会に行って、高齢で車椅子に乗っている山崎神父様をお手伝い出来たら、良い実習になるんだけどなあ～」と、漏らしてはいました。しかしそれも、実現可能だとは本人も思っていなかったと思います。また、私自身が卒業論文で引っかかり、神学科4年生に進学できないかも知れないという大問題が浮上してきました。

そんな状況の中で、奇跡的に卒論が通り(司教様や指導教官の先生を始め、周囲の方々に多大なご迷惑をおかけしながら・・・)、実習先も中和田教会に決まったのでした。しかし今思うと、養成スタッフの上杉神父様が中和田教会に行っていて様子を知っていたことや、末吉町教会のカンペン神父様が一時期、中和田教会の主任代行として関わっていたこと、末吉町教会に韓国人の神父様が来られ司祭が2人になったこと、また、正月に上杉神父様と中和田教会に行ったことなど、知らず知らずのうちに、主は私を導かれていたのかも知れません。

この一年間、私は育てられました。これが実感していることです。グルニエ神父様や皆様を通して、主が働かれたのだと確信しています。

キリストを信じる人々との交わりの中で、主がともにおられることを体験すること。最高のプレゼントです。ありがとうございました。

主に呼ばれた高野哲夫が、主と、そして人々との交わりの中で、主の望まれることを果たしていくことが出来ますように。アーメン。

これからも、よろしくお願いします。

神にも、またみなにも感謝！



ミサ当番表 (2004年2、3月)

月日	主日	朗読 奉納	共司祈願	侍者	オルガン	月日	主日	朗読 奉納	共司祈願	侍者	オルガン
2/1	年間第四主日	石井三・永田	石井三	美底か、石井麻	岩 渕	3/7	四旬節第二主日	上野・太田	上野	下迫瑞	保 科
2/8	年間第五主日	青年会	青年会	永田下迫佳	森 田	3/14	四旬節第三主日	青年会	青年会	美底か、石井麻	岩 渕
2/15	年間第六主日	石井彰・町田	小山	石 井 大	保 科	3/21	四旬節第四主日	小野・下村	岩 崎	永田下迫佳	森 田
2/22	年間第七主日	石井伸・山本	石井伸	石 井 拓	岩 渕	3/28	四旬節第五主日	小野寺・石井悠	小野寺	石 井 大	保 科
2/29	四旬節第一主日	井上・楠田	石井悠	石 崎	森 田						

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は
典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。

婦人会会長を終えて

山本 照子

婦人会会長なんて私につとまるかしらと、最初は不安でいっぱいでしたが、副会長をはじめ役員の皆さんが、ほんとうによく動いて下さり、大変なこともありましたが、皆様の暖かいご支援とご協力のおかげで、一年間6人で無事終ることができました。心から感謝申しあげます。

今年は4人体制になってしまいました。皆さんに声をかけたのですが、いろいろの理由で協力を頂けませんでした。役員だけの仕事と言わず、みんなの教会ですから、どうぞこれからもご協力をお願い致します。

ありがとうございました。



今年、会長をさせていただくことになりました

鈴木 矩子

最初は、役員の人数が少ないことと、暫く中和田教会を離れていた為に婦人会の動きをすっかり忘れていたことに不安をもっておりました。

「手伝いますよ、言って下さいネ」の声に励まされ、あそうだ、これからは役員だけではなく皆様と一緒にやっていけるのだと感じ、まだ新年会が終っただけなのに、少しほっとしております。

役員としていちばんうれしいことは、例会で皆様から活発な意見をいただけることです。賛成であれ、反対であれ、上手に話せなくても、どんなに小さなことでも、自由な心で話し合える婦人会であってほしいものです。又若い方々の意見も歓迎いたします。

それぞれの思いや考えは違うでしょうが、本音で話し、分かち合うことで、相互理解を深めて互いに支え合い生かし合って活動してまいりましょう。

一年間よろしくお願い致します。

平成16年度信徒総会報告（開催日：2004年1月25日 出席者：55名）

■開会宣言と初めの祈り（萩原委員）

■ジャック・グルニエ神父様のお話

*信徒総会は私には初めての経験。今年新しい委員会が誕生する。今まで努力してくれた委員、役を引き受けてくれた新委員に感謝したい。

*以下を今年の4つのキーワードとしたい。

①相互の交わり: 私達は、様々な形で社会の中で相互に交わる使命を帯びている。聖公会と私達が合同で礼拝をしようという提案も出ている。一つの新しい動きである。

②教育: お母さんたちの進めている日曜学校をさらに支援して盛り立てて行きたい。

③典礼: 典礼奉仕者として協力してくれる人達が名乗り出てくれてうれしい。

④宣教/司牧: 地区レベルでのパネルディスカッション等、どうやっていくか考える。

*高野助祭は、2/8迄神学生として私達と活動する。3/20に沼津の教会で司祭に叙階される。中和田教会での初ミサは復活祭の後くらいになるかもしれないが行う。

■議長挨拶（花坂委員長）

*主任司祭不在の苦しい期間を、皆の献身的奉仕で乗り切れた。心より感謝を申し上げます。グルニエ神父様をお迎えできたことは誠に喜ばしいことであった。

■平成15年度会計収支報告: 配布資料を中心に説明（甲斐財務委員）

◎一般会計

【収入関連】

*月定献金は口数は変わらぬが予算未達
*ミサ献金は増額傾向。ミサ参加者の増加もあるか。
*特別献金中20万円は信徒会計から移行

【支出関連】

*祭儀費: ミサ謝礼が大幅増加。
*行事費は減少。敬老会の支出削減が大きい(関係者の努力、対象年齢引上げ等)
*布教教化費、教育養成費: 出費を要する研修会などが少なかった等で減額。
*保険加入費: 教区指導による新規加入(信徒障害保険、金銭損害保険)で増額。
*司祭給与: 4月迄は山崎神父様の分
*消耗品費: 予算大幅超過(祭具15万円、椅子、事務用品、コピー機、etc)
*水道光熱費: 予算を下回る。
*教区内寄付金: 山崎神父給与からミサ謝礼、留守管理委託費、交通費等を差し引き

◎建設会計

*収入については、口数減少。信徒会から50万円を繰り入れ。
*借入れは繰上返済で昨年度で返済完。目的は達成。
*設備費のうち一部は、一般会計から支出しきれない分を支出。

◎愛の献金

*個々の指定献金はほぼ予定通り。

◎信徒会計

*信徒会計は教会会計と異なり、予算管理はしていない。

*バザーは予定の50万円に対して644,944円と、大幅収益増となった。

■平成15年度会計監査報告(東原監査役)

*一般会計他全ての会計につき、入出伝票、教区指示等精査したが全く問題なし。
*監査に携わって気がついたこと。

決算に現れた数字の中に問題が内在している。献金の減少についても、単に減少だけでは済まない問題であり、高齢化も進んでいる(年金生活者が増えている)。財政問題は今後全員が考えていかなければならない。パソコン導入により事務処理が迅速且つ正確になったが、教区の要求も多くなっている。財務委員がミサに参加出来るのは聖体拝領のときのみ、という状態が続いている。皆で考えねばならない。

■平成15年度一粒会会計報告及び事業報告(竹内委員配布資料をもとに報告)

*日頃の協力に感謝

*第5地区としての活動説明

*今年の大会は第7地区(相模原地区)が担当予定だが、準備が間に合わないのと、辞退申し出中? まだ未決定な状態。

■平成16年度予算案審議

◎一般会計

【収入関連】

*月定献金: 従来通り続けて頂けること前提
*祭儀献金(結婚式、葬儀等謝礼金)は、今後全て一旦教区へ納入。神父様へは教区から謝礼が支払われる。

【支出関連】

*祭儀費: 大幅に減額。(教区の神父様をお願いした場合には、謝礼は支払わなくてもよいことになった)
*行事費: 高野助祭の司祭叙階お祝い5万円を含む。
*教育養成費: 各種勉強会への参加費。
*保険は前年度通り。
*司祭給与と分担金: システム変更に伴い、司祭給与は今後教区から支払われる。そのための中和田教会の分担金は2月頃決まる予定。分担金は今までの支出額に比べて減額を想定。(150万円→120万円)

◎建設会計

*借入金返済完了で所定の目的達成。建設献金継続を想定し予算を組んで見た。
*傷みの進んでいる教会の建物の修理代が多く発生することが予想され、そのための積み立て金として建設会計を継続したいというのが、委員会、神父様の希望。

◎愛の献金

◎信徒会計

*バザー収益から建設会計に20万円支出を予定している。
*今年はバザー券は扱わない。親睦主体のバザー運営としたい。

■第5地区福音宣教委員会報告(小野寺、山本委員)

*湘南短期キリスト教セミナーについては、配布資料に基づき小野寺さんが説明。

*昨年度のセミナーは比較的盛況だった。

*中和田教会からは16名が券を購入。

*「第5地区福音宣教委員会」と「湘南短期キリスト教セミナー」は本来別だったが、昨年度よりセミナーを第5地区全体として取り組むことが確認され、戸塚、原宿両教会も加わるようになった。第5地区福音宣教委員会はPR活動などで後援にまわる。次回は太田、鍛冶ヶ谷教会主体の予定だが、その次あたり中和田に回ってくるかも。

*若い人の参加が少ないのが問題

■平成16年度行事予定説明(福島委員)

*配布予定表をもとに説明

■質疑応答

*「聖歌の集い」は6/6(日) 藤が丘教会で行われる。(花坂さん)

*「泉区民クリスマス」を是非教会行事に入れて欲しい。(石井さん)

石井実行委員から運営課題含め経緯説明あり。⇒教会行事予定に組み入れ。(12月)

*3歳になったら、チルドレン・アンサンブルに入れてくれるよう、お母さんたちをお願いしている。信徒の皆さんにご理解をお願いしたい。(小谷さん)

*建設積立金の件は審議しなくて良いのか?(岩崎さん) ⇒委員会、神父様で検討してきたので、承認お願いしたい。(甲斐委員) ⇒建設会計の(建設積立金としての)継続は拍手をもって承認。

■教会委員改選

*委員選出委員(下村さん)から経緯説明。9/28から選出委員で9回の審議。多忙理由で引き受けられぬ等多難な選出だった。今回「運営グループ」の名簿と資料を提出したが、その背景は、多忙の委員さんと一緒に仕事をする「運営グループ」を作り、信徒全員で教会の仕事を進めていこうというグルニエ神父様を支えるためのもの。

*新委員承認。

*旧委員さんを慰労。

*新委員紹介。

*新委員長下村さんの挨拶。

現委員の皆様方、長い間ありがとうございました。委員の仕事は、一人ではできる範囲も限られています。信徒全員のご協力、ご指導を頂きながら教会の仕事を進めたいと思います。宜しくお願い致します。

■質疑応答

*布教グループのメンバーを増やしてほしい。(小野寺さん) ⇒今後みなで検討していきたい。(下村新委員長)

*教会運営基準の見直しをするために、かつて委員を選出したが、そのままになっている。1977年発効以来のもの。このままでいくのか。(宮崎さん)

⇒とうとう何もせずに終わってしまいました。今後の検討に委ねます。(花坂旧委員長)

■終わりの言葉と祈り(阿部旧副委員長)

【記録：小野】

世界のカトリック教会の動き（2002年1月～2003年6月）

【2002年】

1/24 キリスト教と12の諸宗教指導者たち200人以上による“世界平和を祈る集い”がアジアで開催。

2/9 2002年版教皇庁年鑑発表。全世界のカトリック信徒数は、総人口の17.3%に当たる10億5千万人。

4/4 教皇ヨハネ・パウロⅡ世は、4月7日(神のいつくしみの主日)を中東の平和のために祈る日とするよう呼びかける。

4/23～24 米国における司祭による児童への性的虐待の問題への対応を協議する会議開催(バチカン)。12人の枢機卿を含む米国の教会指導者と8人のバチカン高官が出席。

5/2 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、自発教令『神のいつくしみ』発表。

5/22 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、アゼルバイジャン訪問。

5/23～26 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、ブルガリア訪問。

6/14 米司教団、「児童と未成年者保護のための憲章」採択。

7/8 モンゴル、10年目にして使徒座司牧区に。

7/23～28 「第17回ワールドユースデイ2002・トロント大会」開催。170ヶ国から50万人以上が参加。

7/30 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、グアテマラ訪問。中米初の列聖。

7/31～8/1 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、メキシコ訪問。先住民を列聖。

8/16～19 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、母国ポーランド9度目の訪問

9/9～10 ロシアでカトリック司祭相次いで追放。

10/8～11 「国際カテキズム会議」開催。(バチカン)

10/16 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、使徒的書簡『おとめマリアのロザリオ』発表。ロザリオの祈りに「光の神秘」導入を提案。また、2002年10月から翌年10月までを「ロザリオの年」と宣言。

【2003年】

1/16 教理省、「カトリック信者の政治参加に関する種々の問題についての教義上の留意事項」発表。

1/22～26 教皇庁家庭評議会主催「第4回家庭についての世界会議」開催。(マニラ)

2/6 南部アフリカ司教協議会、南アフリカ政府に、内戦発生の瀬戸際にあるジンバブエに介入するよう促す声明発表。

2/8 2003年教皇庁年鑑発表。全世界のカトリック信者数は、2001年末で10億6千万人。

2/11 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、イラク攻撃回避を願い、イラクに特使派遣。

2/23 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、全世界のカトリック信者に、3月5日の「灰の水曜日」をとくに中東地域全域の平和のために、祈りと断食の日とするよう呼びかける。

3/5 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、米国に特使派遣。米国主導のイラク攻撃に反対するバチカンの姿勢を再度強調。

3/20 バチカン、米国主導のイラク攻撃開始に深い悲嘆を表明し、当事者双方を非難する声明発表。

3/25 国際カトリック出版連盟、報道の自由濫用と、イラク攻撃報道に金と名声を求めてメディアが群がっていることを非難する声明を発表。

4/17 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、回勅『教会にいのちを与える聖体』発表。

5/3～4 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、スペイン訪問。

6/5～9 教皇ヨハネ・パウロⅡ世、クロアチア訪問。

6/30～7/7 教皇庁移住・移動者司牧評議会主催「ロマの司牧に関する国際会議」開催。(ハンガリー)